

ゆらゆら

Japan Aseismic Safety Organization

耐震総合安全機構 広報 第49号



特定非営利活動法人
耐震総合安全機構

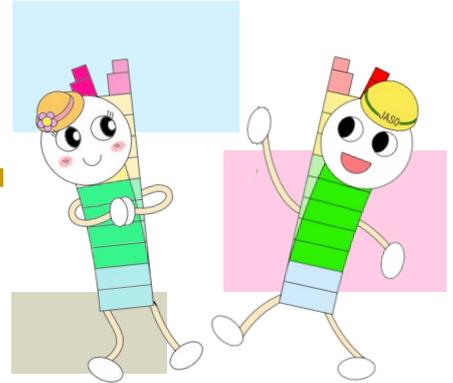
東京都文京区音羽1-20-16 PAL音羽ビル7階
TEL 03-6912-0772 FAX 03-6912-0773
E-mail info@jaso.jp https://www.jaso.jp

作成：耐震総合安全機構 広報委員会

発行日：2022年9月30日（年2回発行）



総会報告



去る6月14日、JASOの通常総会が開催されました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場をJASO本部とするオンライン開催とし、会場出席者を最小限にして実施しました。

会員の皆様へは、議決権行使書または委任状の提出をお願いし、議決権行使書66通、委任状23通と、会場参加の7名を合わせ96名の出席で総会が成立しました。なお、昨年と同様に本年もweb会議システムのZoomにより、会場から総会の様子をライブ配信し、59名の会員がweb視聴しました。

会場は、安達和男理事長、中村茂常務理事、伊藤正利理事、佐藤寿一理事、原田光政理事、河野進監事、森本伸輝氏の7名が出席し、司会者は伊藤理事、議長は安達理事長が務め、議事録署名人に伊藤理事、佐藤理事が指名されました。

審議事項においては、第1号議案 2021年度事業報告、第2号議案 2021年度決算報告について、佐藤理事から説明を行い、賛成多数により承認されました。引き続き、議案書と合わせて配布された報告事項である2022年度の事業計画及び活動予算について、佐藤理事より概要の説明が行われ、安達理事長の挨拶で総会が締めくくられました。

(常務理事 中村茂)



目次

JASO総会報告	1
2021年度 JASO賞審査結果	2 ～ 3
JASO協力会総会報告	4
JASO推奨品・推奨工法紹介 認定番号No.16 プラスチック工法	5
震災被災地視察報告 題17次 東日本大震災 被害状況視察報告	6 ～ 7
セミナー報告（府中市） お知らせ	8

2021 JASO賞 審査結果発表

今回が第2回目となるJASO賞は、昨年10月に募集を開始し、優秀建築賞3点、貢献実績賞に1点の応募がありました。コロナの影響もあり、耐震工事全体の件数の減少も影響したのか、昨年に比較して若干応募数は減少したものの、応募作品は各々創意と工夫を凝らした建築が揃いました。1月からWEB会議による審査会を開始し、建築賞及び実績賞各々の担当者からのヒアリングを行いました。建築賞及び実績賞における評価ポイントについて意見交換を行い、作品賞3点の現地調査は参加可能な審査員全員で行いました。今回の審査員はほぼ全員が第1回審査会メンバーであり、前回の経験を踏まえながら議論と審査を進めることが出来ました。前回は作品賞の応募が5件のうち、共同住宅が2件、共同住宅と店舗の複合ビルが2件、空調機メーカーの製品倉庫・展示場・事務所が1件と、用途もデザインも異なる作品の中から選ぶ事になりましたが、共同住宅と倉庫兼展示場という、2作品が選ばれました。

今回は応募作品が3点とも共同住宅でしたが、JASOの掲げる耐震総合安全性の三つの要素である、建築・構造・設備を結びつける技術、コスト、デザインと、それ等を裏付ける合理性、創意工夫、斬新さ、美しさを備えている事に加え、環境、景観、コミュニティなどの公益性に対する配慮も評価ポイントであり、さらに管理組合での合意形成や役所との調整も重要な評価軸となりました。

優秀建築賞は「サンパークマンション高田馬場」地上13階、共同住宅87戸、事務所11戸、店舗3戸の複合ビルに決定しました。明治通りと早稲田通りという緊急輸送道路の交差点に建ち、耐震改修工事前からランドマークとして目立つ建物です。建物のほぼ中心部に黒い縁取りのアウトフレームとシルバーのブレースを組み合わせた補強が施されています。この補強が建物全体の印象を引き締める効果があり、耐震補強デザインとして秀逸であり優秀建築賞に決定しました。

惜しくも選に漏れた「幸町コーポピアネーズ」は30戸の共同住宅ですが、アウトフレーム補強を自主管理の管理組合がスムーズな合意形成で完成した点は特筆すべき好例です。同じく「セブンスターマンション桜台」はオーソドックスな補強フレームがスッキリ納まっており、幹線道路からの騒音と西日除けにもなっていると管理組合からも好評です。

貢献実績賞は、「マンション耐震セミナーによる耐震総合安全の普及・啓発活動」に決まりました。教育研修委員会がマンションの管理組合を対象に、耐震総合安全性の普及啓発を目的に、長期に継続してきた活動であり、外向けのセミナーとして長期間に渡って地道に活動を継続してきたものです。住宅金融支援機構との共同開催であり、東京都を始めとする多くの自治体や、マンションの改修に取り組む多くの団体の支援も得て、2014年から毎年7年間に渡って多くの参加者を集めてきました。今後さらなる活動の継続を期待したいと思います。

今回応募されなかった会員諸兄には、今回の建築賞・実績賞から見えてくる各種の活動成果を参考にして、今後の仕事に生かして頂くと共に、次回以降のJASO賞に是非応募して頂きたいと思えます。（審査委員長 河野進）

JASO貢献実績賞2021

マンション耐震セミナーによる耐震総合安全の普及・啓発活動

名称	教育研修委員会	代表	原田光政
委員	今井章晴・上原寛明・上村亜弥・河井修・小橋良治・三島直人 佐藤寿一・鈴木ひとみ・高橋達夫・平野広・水上邦夫・三木剛		

審査講評

貢献実績賞の応募は1点。教育・研修委員会が外向けのセミナーとして長期に渉って継続してきた『マンション耐震セミナーによる耐震総合安全の普及啓発活動』はJASO活動の普及に貢献し同時に、会員のスキルアップにも大きく貢献してきました。当セミナーで扱った講演テーマ耐震改修事例は独立行政法人住宅金融支援機構及び東京都との共催セミナーとしても行われ、紹介の機会を得たことで、波及力を持ってマンションの耐震補強の促進に貢献しました。JASOが行っている他の委員会活動にも参考にして頂き、今後更なる活動の継続を期待し今年度のJASO貢献実績賞として表彰します。

(右) セミナー風景 (すまい・るホール)

回数	開催年	参加者
第1回	2014年	113名 ・テーマ マンション耐震化の進め方
第2回	2015年	57名
第3回	2016年	84名 ・テーマ 耐震改修工法と特徴
第4回	2017年	104名
第5回	2018年	90名 ・テーマ 災害事前復旧タイムライン
第6回	2019年	79名
第7回	2021年	90名 ・テーマ 団地住宅の耐震改修事例

(表) 開催されたセミナーとテーマ例



JASO優秀建築賞2021

サンパークマンション高田馬場

審査講評

今年度の優秀建築賞には3作品の応募があった。いずれも東京都・区が指定する特定緊急輸送道路沿道建築物であり、耐震診断・補強工事費助成の条件も満たしていた為、纏まった助成金を受けることが出来たケースである。耐震補強方法はいずれも外付けフレームによる補強であるが、デザイン的には各々工夫が凝らされており、審査では、設計者の個性とセンスが競われることになった。選ばれたサンパークマンション高田馬場は、明治通りと早稲田通りの交差点に建つランドマーク的な建物である。敷地には高低差があり地下1階が明治通りのレベルとなる。建物の形状は地上6階部分で大きくセットバックし低層部と高層部に分かれている。既存建築物は耐震基準が切り替わる時期に設計されており、新耐震基準に準じた設計となっている。診断結果はX方向の l_s 値が7階～9階0.487～0.558。Y方向は2階0.575、6階0.515、11階0.49とかなり良好である。屋上の押えコンクリート、及び高架水槽の撤去による軽量化を踏まえ、フレームの荷重を下階2層の柱で支える鉄骨ブレース付きアウトフレームによるコンパクトな補強案になっている。正面道路側の8階、9階の中央に設置したシルバーのV型ブレースと補強鉄骨をフッ素樹脂パネルでカバーしたアウトフレームは、マンションの外観を大きく変えるアクセントとして効果的に立面を引き締めており、秀逸である。今年度のJASO優秀建築賞として表彰する。

所在地	東京都新宿区高田馬場1-4-21
所有者	サンパークマンション高田馬場 管理組合
用途	共同住宅(87戸) 店舗(3戸) 事務所(11戸)
構造・規模	SRC造、地上13階、地下2階、塔屋2階、 延床面積 7085.906㎡
当初竣工年月	1982年10月
設計担当者	建築：森本 伸輝 構造：篠田 秀治



【改修前】

地下1階レベルに明治通りが接道し、エントランス、店舗があります。6階～13階が低層部より縮小し塔上に伸びているため、耐震上の弱点となりました。



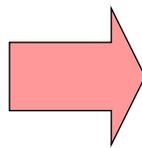
【改修後】

明治通りと早稲田通りの交差点の至近に位置し、交通の便がよく利便性の高い立地です。その為、多様な価値観を持つ所有者の意見統制、工事中の公共交通、店舗利用者、住居者等の安全確保を踏まえた耐震補強+大規模修繕工事となりました。補強部位となるブレース付きアウトフレームは、この建物の弱点となる低層部と高層部の切り替え部付近に最小限の範囲で設置し、外観のアクセントになるよう設計しました。



(写真左)

フレーム設置後のバルコニー
(設計時に模型で検討)



(写真右)

屋上軽量化工事(補助金対象)





JASO協力会総会報告

6月8日、昨年に引き続きZoomによるリモート開催にて JASO協力会2022年総会が開催されました。JASO安達理事長、JASO中村常務理事、JASO協力会担当役員と協力会9社17名 が参加（リモート参加含む）しました。JASO協力会役員は昨年に引き続き、徳田会長以下役員12名が留任となりました。事務局は引き続き建装工業(株)が担当し、事務局担当者は館林から安田、米山へ変更となりました。JASO協力会担当役員は引き続き菊地守氏と水上理事が担当されることになりました。

安達理事長からは「コロナ禍が長く続いているが皆様と対面して意見交換をできる機会がもうじき来るのでは」とコロナ前に行われていたJASO協力会主催のボジョレーの会の再開に期待を寄せていらっしゃいました。

徳田協力会会長の挨拶では、「ITを活用し創意工夫をして新しいやり方に取り組んで意見交換を行っていききたい。会員はライバル同士でありまた、仲間として、各得意分野でお客様の役にたつよう協力していきましょう」とお話がありました。

水上理事からも「なかなか思うような活動ができない状況ですが、皆様にご協力いただいて会員を増やしていきたい」とお話がありました。

今年度の協力会の主な活動としては、技術発表会を動画とWEBを活用した方法にて実施することや、交流や情報交換の機会の創設、耐震の現場や工場見学会の開催、JASO各委員会活動への積極参加について報告させていただきました。

(建装工業(株) 安田・米山)



日本建築仕上学会 学会賞受賞のお知らせ



2022年度 日本建築仕上学会・学会賞において
JASOの安達和男理事長が功績賞を受賞されました。
おめでとうございます！！

【功績賞】

安達 和男(あだち かずお) / Adachi Archi Associate
“建築デザイン・リノベーションに係わる研究開発並びに
本会の運営活動に関する功績”



JASO推奨品・推奨工法認定 認定番号NO.16

『ブラストキー工法』株式会社E&CS

低騒音・低振動・低粉塵による環境に配慮した次世代型のチップングに代わる新しい目荒らし工法「ブラストキー工法」がJASO推奨工法（認定番号No.16）に認定されました。

従来の電動ピックを用いたコンクリート面の目荒らしに替えて、コアドリルを用いてコンクリート面に凹部を設けることで、耐震補強のコンクリート部材との一体化を確保しています。

マンションにおいては住まいながらの耐震補強が一般的であり、従来の目荒らしに比べて騒音や振動、粉塵、工期が大きく抑えられ、居住者の工事中の負荷を軽減することができます。

接合面のせん断耐力をブラストキーが負担するので、あと施工アンカーを最大2割も減らすことができます。

ブラストキー工法の設計・施工指針に示される接合面の設計施工法の適用範囲、設計法、施工法、施工品質管理等の方法に関する妥当性について、建築研究振興協会の技術（性能）評価書（BRP-R1803014-OST）を取得していることなどがJASO推奨工法に認定された理由です。

（技術情報委員会／宮城秋治）

Method いい構造は、いい目荒らしから。これからは、管理のできる目荒らしへ。
 プラストキー工法とは？
「ブラストキー工法®」は、低騒音、低振動、低粉塵で、環境に優しい、チップングに代わる新しい目荒らし工法です。

Advantage 本工法の特徴

建築構造物のあらゆる接合面に適用可能

耐震補強の鉄骨・制震ブレース等の接合面、増し打ち壁の接合面のみならず、新築・増改築によるコンクリート接合面全般に適用できます。

せん断耐力の定量評価が可能

技術者の技量に左右されず、一定の形状で施工ができます。そのため、せん断耐力の定量評価が可能となり設計に耐力を考慮できます。

建物を使いながら施工可能

施工時に打撃を与えないため、躯体を伝わる騒音・振動を大きく抑えます。さらに、粉塵はほとんど発生しないため施工現場はクリーンです。

簡単な施工で容易な品質管理

施工は専用のコアビットで穿孔するだけ。チップングでは管理できなかった目荒らし面積を、ブラストキーでは個数で管理することができます。

コンクリート接合で高い一体性を確保

工法のポイントとなるブラストキーは、コンクリートとの凹凸で支圧抵抗することにより、高いせん断耐力を発揮します。ブラストキーがせん断耐力を負担することで、あと施工アンカーを最大20%削減可能です。

チップングによる目荒らしの場合
ブラストキーによる目荒らしの場合

チップングからブラストキーへ置き換えが簡単

簡単な設計手法でチップング以上の耐力をブラストキーに置き換えができます。

チップング
ブラストキー工法

ブラストキーの施工は振動工具を使用しないため、作業者の負担を大幅に抑えることができます。また施工スピードが速いため、工期短縮が期待できます。

環境に配慮した施工

穿孔作業にコアドリルを使用するため、従来工法（チップング）に比べて周波数成分で最大約20dBの騒音低減が可能です。

騒音とともに振動を抑制し、発生する粉塵はほぼゼロです。

施工事例
(某小学校改修工事)

学期中の耐震補強工事であり、通常のチップングでは騒音・振動が大きいためブラストキー工法が採用されました。騒音・振動・粉塵を抑えることができ授業に支障をきたすことがありませんでした。

ブラストキー工法による施工事例

人の耳が聞き取りやすい周波数帯

騒音レベル_{eq} (dB)

周波数 (Hz)

※ O.A. (オーバーオールレベル) での測定値です。測定数分析毎の極値をとった合成レベルをオーバーオールレベルといいます。

（ブラストキー研究会 TEL 0120-109-686）

第17次 東日本大震災による被害状況視察のご報告

報告：篠崎玲紀

2022年5月1日から2日の2日間に渡り、3年ぶりに「東日本大震災」による被災地の復興状況をJASO第17次調査団メンバー（11名）で視察に行ってきました。

1日目は石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市、2日目は陸前高田市、釜石市、大槌町、宮古市を視察しました。今回も前回の16次調査時と同様、主に「震災遺構」の状況確認を行いました。被災した地域も場所によっては東北で災害が発生したとは思えないほど、戸建て住宅が立ち並びや雰囲気も3年前と大きく変わっている状況でした。ハード面では着々と復興が進んでいる印象でした。復興のゴールはどこなのかを考えさせられる調査でした。



【門脇小学校】

前回の視察で校舎に足場が架かっていた石巻市の門脇小学校も震災遺構となっており、校舎の一部を残して、震災当時のままに教室や廊下を見学する事が出来ます。隣には伝承館が建設され、地域の被災状況や、残された机や下駄箱、被災後使用された仮設住宅も展示されていました。



門脇小学校校舎



伝承館

【旧女川交番】

前回の視察では、旧交番周囲は立入禁止の柵で囲われていましたが、囲いが外れて建物を囲むように、災害当時の写真や災害状況がパネルで掲示されており、当時の状況が分かるようになっています。



旧交番建物



災害遺構

【陸前高田 奇跡の1本松】

道の駅から奇跡の1本松までの道も綺麗に改修されており、以前の砂利道とは全く景色も様変わりしていました。堤防の外側には松が植樹され数百メートル埋め尽くされ緑一色です。道の駅は伝承館となっていました。



堤防外部風景



奇跡の1本松

【たろう観光ホテル】

既に遺構として残されている建物となります。現地で語り部の方より、災害当時の被害状況を説明して頂き、ホテルの最上階にて当時の津波動画を観る事が出来ました。



たろう観光ホテル



1階の状況

【その他視察風景】



南三陸高野会館



南三陸防災対策庁舎



石巻大川小学校



耐震化セミナー報告

府中市 分譲マンション耐震化セミナー・個別相談会

JASO講演内容「様々な耐震改修事例～診断結果に応じた補強計画～」 (講師 岡田和広)

府中市では、昨年の第1回に続き、本年度も去る8月6日に府中市役所に於いてマンション耐震セミナーと個別相談会が開催され、JASOから講師と相談員を派遣いたしました。セミナー参加者は6管理組合9名、個別相談会は3組でした。セミナーでは活発に質疑応答が行われ、精密診断結果による不動産価値が下がることへの心配や、マンション敷地が売却により狭くなっているが耐震化が可能かなど、それぞれの管理組合で抱えている問題についての質問などがありました。

市担当者による助成制度の説明では、昨年創設された耐震アドバイザー派遣、耐震診断費用の助成に加え、今年度は補強設計の助成制度が追加されたことと、今後は、耐震化を進めるマンションの状況に応じ補強工事の助成も検討していくとの方針も伝えられました。

昨年のセミナー・相談会実施の成果として、相談会に参加した管理組合1組から、JASO相談員によるアドバイザー派遣要請があり、今年度は助成制度を利用して精密診断に進んでいます。これは府中市マンション耐震化支援制度利用者の第一号とのことです。今年度のセミナー参加者からも、アドバイザー派遣制度を利用して耐震化を進めるマンションが出てくることを期待しています。

(教育委員会 鈴木ひとみ)



2022年度JASO賞 募集のお知らせ

■実施スケジュール

応募期間 : 2022年7月下旬～2022年10月31日

審査 : 2022年11月～2023年2月

2023年6月のJASO総会にて審査結果発表、表彰予定

■表彰対象

1.優秀建築表彰

- ・特に、耐震総合安全性、実施過程等が優れた建築物
- ・2022年4月1日時点で、耐震改修工事竣工後概ね1年以上、10年以内のもの

2.貢献実績表彰

- ・建築物の耐震総合安全性、耐震診断・改修の促進及び技術の発展に顕著な貢献を行った取組・実績

■応募者

優秀建築表彰・貢献実績表彰とも、当該建築、又は実績の関係者及び推薦者

■応募書類

募集要項・応募用紙についてはJASO事務局へお問い合わせください。

優秀建築表彰は、その規模・用途は特に問いませんので、貢献実績表彰併せ、自薦・他薦にて広く応募を期待しています。